

# 幼児教育学科における英語学習

## — 保育英語と英語絵本 —

昆 布 孝 子

### English Classes for Students in Early Childhood Education : Child Care English and English Picture Books

Takako Kombu

グローバル化の時代となり、小学校の英語活動も教科化へと向かっている。早期英語教育活動やインターナショナルスクールも盛んになり、幼児教育の世界でも、「英語が話せる保育士」、「英語が使える保育士、幼稚園教諭」が求められてきている。

このような社会の中で、短期大学幼児教育学科の学生が学ぶ英語内容、英語活動も検討する必要に迫られている。早期英語教育に対応できる保育士、幼稚園教諭を養成するためには従来どおりの一般的教養英語を教えていて良いのか。幼児教科学科の学生たちが、保育現場で平易な英語で対応できるようになることを目指した保育に係る英語や保育現場で活用できる英語の授業を考察する。

キーワード：早期英語教育、保育英語

## 1. はじめに

小学校の5、6年生徒の外国語教育では2011年度に英語が必須教科になり、3、4年生からあるいは、1、2年生から何らかの英語活動の時間が設定されている学校が多くなっている。その影響に加えて、保育、幼児教育現場の環境は加速度的にグローバル化が進んでいることから、「英語を話せる保育士」を要望する声が高まっている。その結果、英語検定の1つとして「保育英語検定」が2011年度から実施されている。

筆者は2012年度から3年間奈良文化女子短期大学幼児教育学科で英語の授業を担当してきた。今まで研修してきた小学校英語活動は参考になるとしても、実際に保育現場での実務経験がないため授業への不安やシラバスに対する疑問を感じた。そこで本校附属の奈良学園登美ヶ丘幼稚園をはじめ、他に3つの私立の幼稚園に行き、日常の英語教育活動に参加し、発表会を見学し、先生方から色々な指導を仰

いだ。また、本学の公開講座、子育て支援、ちびっこ広場の「英語であそぼう」では、幼児との体験を積み重ねた。

更にオーストラリア大使館での保育英語検定協会主催の研修会に参加して、他大学の幼児教育学科での英語学習状況を学び、幼稚園現場での英語活動状況や活動内容を調査する中で解決策を見つけ出す努力をした。

本研究では授業での教材選びや指導方法を考える手立てとして、本学学生の英語能力、英語に対する意識・意欲を調査分析する。また、学生が将来働く保育所や幼稚園での外国語（英語）学習活動状況と使用すべき英語教材や英語授業内容を検討する。学生の負担が少なく、今後の保育、幼稚園現場で役に立つ英語授業のあり方について、筆者の実践例を紹介し、その意義と課題について検証する。

## 2. 学生の英語力と英語に対する意識

本学の学生の英語力および英語に対する意識について分析をする。学生の多くが感じた中学時代の「英語学習でのつまずき」について考察し、その結果を指導内容、指導方法にどのように活かすかを検討する。

### 2.1 英語に対する意識と英語力

「英語は分からないから、大嫌いや!」「保育学科なのに、何故、大学にまで来て（この学科で）英語を勉強するのか」。毎年授業初日、このような学生のつぶやく声を教室で耳にする。授業の初日に実施している簡単な意識調査と、入学直後にする英語の実力テストの結果を分析し、学生が感じている英語の問題点を探る。

#### 2.1.1 英語に関する意識調査

下記の質問をして学生の英語に対する意識や英語学習でのつまずきを調査したところ、次のような回答が得られた。

問1. 英語は好きですか、苦手ですか

・好き 15%      ・まあまあ好き 25%      ・どちらかと言えば苦手 35%      ・苦手 25%

問2. 「好き」と答えた人はどんな所、どんな時が好きだと思いますか

・英語の歌や映画が好き      ・海外旅行をして話が通じて嬉しかった  
・試験で点数がまあまあとれた      ・高校で英語の絵本を読んで楽しかった

問3. 「苦手」と答えた人はどんな所が苦手、嫌いだと感じますか

・文法が全く分からなかった      ・試験で点数がとれず、いつも欠点だった  
・何を言っているのか全く分からない      ・英語が全く分からないし、分かれようと思わない  
・文章（英作文）が書けず嫌いになった

問4. 英語が苦手、嫌いな人は、いつ頃からそのように思い始めましたか

・中学1年生後半 10%      ・中学生2年生 50%      ・高校に入学 40%

問5. 何か英語検定や資格を持っていますか

- ・日本英語検定 3 級 2 名
- ・日本英語検定準 2 級 1 名

このアンケートから見ると、学生の大半は、中学時代に文法が理解できず、その結果、試験の点数がとれなかった。この体験が英語の苦手意識へ変わったと考えられる。そんな学生の中で、英語の歌や絵本には良い印象を持っている者がいる。この点を考慮して、授業での教材選択、指導方法に工夫を加えていった。

## 2.1.2 英語力を分析

学生が入学直後に受験した英語の実力テストを分析する。

- ・テスト内容：中学1, 2年の基本文法問題、対話文、短い英文の内容把握問題と難易度の低い高校入試程度のテスト。
- ・対象者：2013年度1回生 ABクラス46名、CD（長期履修者）クラス47名。

表1 英語テスト結果（100点満点）

クラス／点数	85～70	69～50	49～40	39～30	29～
AB (46人)	8	19	10	8	1
CD (47人)	9	12	12	10	4
合計 (93人)	17 (18%)	31 (34%)	22 (23%)	18 (19%)	5 (5%)

- ・結果：日常会話は中学レベル英語で良いと一般的に言われている。そのような中学の基礎英語力が乏しい学生はほんのわずかである。それを意識して、学生が分からない時すぐにフォローできるように努めた。例えば、ペアワーク、グループワークを多用して、容易に質問できる環境を作るように心がけた。隣の席の友達に聞ける、学生同士が互いに支援できるように、授業に工夫を加えた。

## 2.2 英語学習でのつまずきや英語に対する意識調査について考察

### 2.2.1 生徒と教員が考える英語学習でつまずきやすいポイント調査

2009年ベネッセ教育研究所が「第1回 中学校英語に関する基本調査報告」<sup>1)</sup>を出した。このデータは本学学生の英語の苦手意識やつまずきと類似点がみられる興味深いデータである。

下記のデータで、生徒の英語学習でつまずきやすいポイントと教員が考えるポイントにはかなりの差異があることに注目したい。

表2 「英語学習でつまずきやすいポイント」生徒調査 (n=2,967) (%)

1	文法が難しい	78.6
2	テストで思うような点数がとれない	72.7
3	英語で文を書くのが難しい	72.0

4	英語を聞きとるのが難しい	65.8
5	単語を覚えるのが難しい	62.9
6	英語を話すのが難しい	59.6
7	英語に限らず自分からすすんで勉強する習慣がない	53.7
8	外国、異文化に興味がない	44.8
9	英語の文を音読するのが難しい	44.7
10	英語そのものが嫌い	43.9

(出典) ベネッセ 教育研究所「第1回中学校英語に関する基本調査報告書」「生徒調査」(2009年)

表3 「英語学習でつまずきやすいポイント」 教員調査 (n=3,643) (%)

1	単語(発音・つづり・意味)を覚えるのが苦手	68.8
2	英語に限らず、学習習慣が付いていない	68.0
3	英語に限らず、学習自体への意欲が低い	61.0
4	文や文章を書く事が苦手	58.3
5	文字や文章を読めない(文字から音にうまく変換できない)	50.2
6	文法事項が理解できない	45.7
7	テストで思うような結果を得られない	33.8
8	英語に対する抵抗感	27.5
9	英語や外国、異文化に興味を持ってない	7.0

(出典) ベネッセ 教育研究所「第1回中学校英語に関する基本調査報告書」「教員調査」(2009年)

このデータによると、教師が、生徒の問題や課題に対して正確な認識ができていないことが判明する。その結果、相互のつまずきのポイントの順位に大きな差異が出ている。教師が学生につまずきにたいして正しく認識し、更に授業の工夫不足をしていれば、英語嫌いの生徒を生み出さなかったかもしれない。

幼児教育学科での英語の授業をする際に、教材選択や英語学習指導方法を考慮するのに参考となるデータである。

### 2.2.2 授業の理解度と好きな教科との関係

次のデータから、「英語が理解できる」イコール「英語教科が好き」ではない。意外にも英語が理解できるが、教科として好きでないという生徒が多い。反対に殆ど分かっていなくても、教科として好きだと言う生徒がいる。このことは教師が授業内容、指導方法を工夫すれば、学生に英語を理解させ、英語好きを産む余地があることを示すと考えられる。

英語を半分くらい分かっている、70%くらい分かっているという中学生が、英語が好きな教科として選んでないのには驚愕である。英語が分かるとは、文法事項が分かり、テストで点数がとれるという作業でしかなく、中学生には英語や英語の授業は興味あるものではないのかもしれない。

30%分かっている、それ以下しか理解できていなくても、英語が好きな教科だと言う生徒がいるのには希望が持てる。短大生には、英語絵本を通して異文化に触れ、沢山の英語を聞き、コミュニケーション

ンの道具としての英語を使えた喜びの実感を持たせることができる外国語活動を実践したいと考えた。英語の授業内容を考える良いヒントとなるデータである。

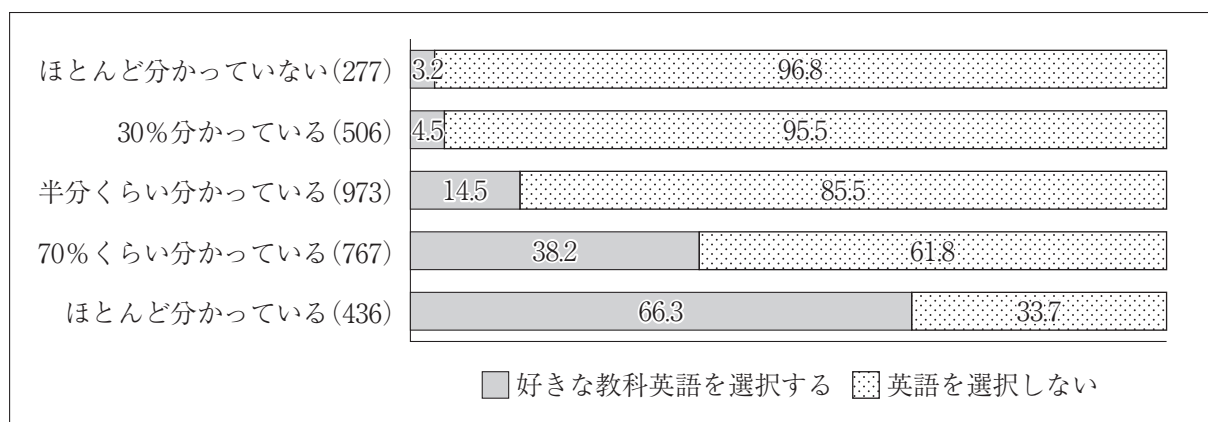


図1 成績と英語を好きな教科に選んだ人数の関係

(出典) ベネッセ教育研究所「第1回中学校英語に関する基本調査報告書」(2009年)

### 3. 幼児教育現場での英語教育活動について

小学校英語の必須化、教科化に伴い、私塾での早期英語教育だけでなく、保育所や幼稚園での外国語活動が年々盛んになってきている。これとは別にインターナショナルスクールやバイリンガル・インターナショナルスクールでの「英語での保育」にも保護者の関心が高まる傾向がある。

ここでは、小学校の英語活動の内容と目標を確認し、次に、保育所、幼稚園の英語教育活動の実態を確認し、幼児教育養成学校での英語の授業のあり方を考察する。

#### 3.1 保育所、幼稚園の外国語教育活動について

短期大学幼児教育学科の学生は、専門科目の学習で日々多忙を極めており、苦手意識の高い英語が重荷になっている。早期英語教育が盛んになり、保育所でも外国語活動をしている実態を把握し、その活動に対応できる英語能力と同時に英語学習指導の方法を学生時代に習得する必要性が生まれている。

学生には、1回生での保育所見学や実習時に、現場での外国語活動の見聞し、それについて情報交換させる必要を感じる。

##### 3.1.1 保育所での外国語活動についてのアンケート

1回生が保育実習をした後に、実習先(奈良市、大和郡山市の保育園・保育所)での外国語教育活動状況を学生に尋ねた。アンケート対象者は2012年度1回生 ABクラスの43名の学生である。

なお、学生は1つの園に複数人で保育実習をする。実習担当児が幼く、外国語活動がないケースもある。また他の年時の幼児の状況は不明と答えた学生もいる。

アンケート質問内容

1. 外国語活動実施の有無 ①無 ②有
2. 外国語活動実施の週当たりの回数 ①1回 ②2回 ③その他
3. 1回での外国語活動実施の時間 ①30分程度 ②20分程度 ③その他
4. 外国語活動に参加する子供の年齢 ①3・4歳児 ②5歳児 ③希望者
5. 外国語活動で使用した教材活動内容 ①英単語 ②絵本や紙芝居 ③歌やゲーム ④その他
6. 外国語活動を指導している ①保育者 ②外国人 ③外部専門家

表4 アンケートの回答 ※指導教材内容については複数回答 (n=43名)

	実施		実施回数			実施時間			対象年齢			指導教材内容※				指導者		
	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
公立	4	3	0	0	3	1	0	2	1	0	2	1	2	1	0	0	2	1
私立	14	22	15	2	5	12	4	6	14	2	6	12	10	7	13	1	11	10

(注) 絵本や紙芝居：Brown Bear, What Do You See? Dear Zoo, 他

歌やゲーム：Nursery rhymes, Twinkle, Twinkle Little Star, ABC Song, Happy Birthday, 他

アンケートの統計結果を基に、学生たちが情報交換した。これで分かるように、私立の保育所では3歳児から外国語活動をしていた。英語の授業で学習した英語絵本や歌が実際に活用されていることがわかり、英語絵本や英語の歌に興味を持ち、その活用方法を考えるなど、意識が高まった学生も生まれた。

学生は、このデータを見ることで、保育所の外国語学習の実態を知ることができ、短大での英語学習授業について考えるきっかけになった。

### 3.1.2 幼稚園の募集要項での英語活動状況

奈良県内の私立幼稚園の英語活動状況について調べる。県下45園の中で2016年度の幼稚園園児募集ガイド（奈良リビング2015. 7.3発行）<sup>2)</sup>に掲載していた38園について調べる。各園が特色として記載している内容の中から外国語活動に関係するものを活動内容と指導者に特化し分類する。

表5 資料 奈良リビング（中和版・北和版より）

英語教育活動内容表記	奈良県中和地区	奈良県北部地区
ネイティブ英語教師による毎日の英語教育	1	0
※イマージョン・クラス（英語）	(1)	0
外国人講師による英語指導	1	4
専門家、外国人講師による英会話	5	5
専門家、外国人講師との英語遊び、英語活動	4	5
専門家、外国人講師による英語教室	1	2
英語に関する情報の記載がない	7	3
合計	19	19

(注) イマージョン教育：ある教科の授業を英語で学び、教科学習として児童に自然に英語を習得させる教育プログラムで、英語学習が目的でなく、教科を学ぶ手段として英語使い、自然に習得させる教育



この募集ガイドの特色欄に外国活動が記載されていなくても、私立の幼稚園では、外国語活動を全く実施していない園はほぼ皆無だと言える。その内容や実情は様々である。外国語学校などの専門業者に委託する園もあれば、幼児教育の一環として外国語活動実施している園と多様である。

一部の私立小・中学校で実施されている英語イマージョン教育が、幼稚園でも実施する傾向が増えることが予想される。多様な早期英語教育が高まる傾向は、小学校の英語の必須化、教科化が進むにつれて、保護者の要求が高まるであろう。

### 3.2 まとめ

外国語教育活動について言えば、小学校では、2011年には5年生から外国語学習が必須化になった。次に2018年から3年生から必須化、5年生からは教科化に向けて進められている。

幼稚園では、公立私立を問わず、幼い時から積極的に多文化交流を図る目的で外国語活動が様々な方法で取り入れられている。保育所では外国籍の幼児が入所しているケースも多くなり、保育現場でもグローバル化が進んでいる。

外国語活動の指導については、幼児教育現場では、保育士が直接外国語活動に参加するか否かは各保育所や幼稚園によって異なる。外国人講師や外部専門講師が、英語絵本、英語の歌やゲームなどの外国語活動を指導している場合が多く見られる。しかし、打ち合わせや説明のための英語が保育士に求められる。

幼児教育学科での英語学習は、保育に関する英語と同時に現場で活用できる材料、学習内容、指導方法を提示するようなものが必要である。小学校の外国語活動で中心となっているタスクベース活動(歌、チャンツ、遊び(動作ゲーム)、絵本)をできるだけ丁寧に指導する必要性を感じた。

## 4. 英語の授業実践例

2.3で述べたことをもとにして、この3年間実施してきた幼児教育学科で実施した英語授業実践を報告する。

### 4.1 教材選択

幼稚園の英語活動の授業、発表会を見学する。公開講座、ちびっこ広場で幼児と英語で遊ぶ、お話会で英語絵本の読み聞かせをするなど、経験を積み重ね、保育士、幼稚園教諭を目指す学生に対してどのような授業、英語学習を実施するか思考する。

幼児教育専門の先生方の助言を受け、また学生の反応を見る、学生の意見を聞くなど試行錯誤を重ねる。

#### 4.1.1 教科書・教材について

・大学生用に出版されたテキスト

授業は3つのパートに分かれており、1つは大学生用のテキストを用いての学習。

テキストは語彙数や文法項目の数が少なく、学生の興味関心を持てる内容で、その内容が短くまとまっているテキストを選択した。授業では難易度の高い語彙については日本語訳を提示する、または、内容理解につながる質問を日本語で行い、文化背景についてヒントを与え、ハードルをできるかぎり低くし、学習意欲を持たせるように努めた。

#### ・保育英語と保育英語検定対策

授業の2つ目は保育英語に特化したプリント学習。

「英語が話せる保育士」になれるように、幼稚園、保育現場で使える英語を、例えば、室内、室外での日常保育で使う英語、外国人指導者との対応で使う英語を学べるように、プリント学習を行った。プリント作成時には、「Children's Garden (保育英語)」、「Childcare English (保育の英会話)」、保育英語検定(1級～5級)テキスト、保育英語検定(2級～5級)対策問題集を参考にした。

授業では、1つの保育場面を設定し、そこでの会話・対話文を中心としたプリントを作成し、保育に必要な語句を学習した。テーマの決める際は、次に述べる英語絵本や英語の歌との関係を重視し、テーマに関連があるように配慮した。

また、保育英語検定を受験する学生のために、問題形式のプリントを使用することもあった。

#### ・英語絵本と英語の歌

授業の3つ目は英語絵本や英語の歌を活用した学習。

学生に英語の苦手意識を持たせずに英語学習ができ、幼児教育現場で活用できること考慮し、絵本や英語の歌も取り入れた。幼児が母語習得に絵本や歌を活用するように、絵本には認知的理解を促す仕組みがある。その仕組みを活用した学習として、中学校での辞書を使用せず絵本を読む多読授業がある。

##### \*絵本での認知的理解の仕組みについて

- ・絵本は静止画であるので明確な指示機能を持ち、物とことばの対応が理解され易い。読み聞かせをしても、容易に音声と概念を習得できる。
- ・絵本にはリズムカルな繰り返し表現がある。繰り返される同一又は類似の場面と同一又は類似の表現を容易に結び付けることができる。
- ・絵本には話(文)の組立てがあり、既習の知識で理解でき、また推測できる。

#### 4.1.2 英語絵本、英語の歌について

英語の絵本や歌での学習は学生の英語学習へのハードルを下げる。絵本は平易な英語を使用しているが、豊か表現で美しい場面や様々な異文化を紹介するので、幼児教育学科の学生の英語学習に相応しいものだと考える。

ナーサリーライムのような古典的な歌をはじめ、絵本に付属する歌や日本の手遊び歌の英語版をチャンツや歌をTPR(トータルフィジカルリスポンス全身反応教授法)を活用して英語の学習をした。

下記に3年間で使用した英語絵本と使用年度をまとめる。授業で説明紹介しただけの絵本は、ここでは省略する。男児が興味ある乗り物を題材にした絵本は紹介で終わった。教材に偏りがないようにすることも大切である。



表6 使用した英語絵本と年度

絵本の題名	主要語彙	使用年度
Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?	動物、子ども、教師、色	14, 13, 12
Today is Monday	食べ物（野菜・魚・肉）、曜日	14, 13, 12
Draw Me a Star	星、月、太陽、虹、夜、ほか	14, 13
From Head to Toe	体の名称、動作	14, 13, 12
The Secret Birthday Message	様々な形、家の各部分	14, 13
The Very Hungry Caterpillar	蝶の変化、果物、おやつ、曜日	14, 13, 12
The Very Busy Spider	動物、鳴き声、動作	14
Five Little Monkeys Jumping on the Bed	子猿、母猿、医者、就寝前の動作	14, 13
I Like It When …	日常の親子の行動、動作	14, 13, 12
I Like Bugs	様々な虫の種類	14
I Like Fish	様々な魚の種類	14
I Like Me!	日常の行動を英語で表現	14, 13, 12
No, David	子供の様々ないたずらな行動	14, 13, 12
Go Away, Big Green Monster	顔の名称、色	14, 13, 12
Dear Zoo!	動物、動物に関する形容詞、手紙	14, 13
My Pet!	動物、動物に関する形容詞、散歩の動詞	14
A Color Of His Own	動物、色	13
Swimmy	魚、海の動物・植物、	14
Chomp, Chomp, Chomp!	食べ物、うんちの色	14, 13, 12
My First Halloween	黒猫、魔女、カボチャ、ハロウィン	14, 13

## 4.2 業で実施した指導内容・方法

### 4.2.1 英語の音読学習

絵本を読み、ゲームをする際には大きな声を出すことが必要である。そのために英語は常に声に出して、単語も文章も何度も何度も音読させた。学生は英語の発音に自信がなく、読み方が分からないと不安を感じているため、1回の授業の中で10回近く英語を音読するように努めた。教師の後に続いて読む、個人で読む、学生同士で読む。その場合は、ペアで、又は3、4人がグループを作り、輪読をする。音読に対して自信をつけるために、常に集中して、自分の発声を聞き、他人の発音を聞くことに努めた。自分が読めない単語や文章があれば、ペアやグループ内の友達に聞きけるような時間を持つなど、尋ね易くするように努めた。

### 4.2.2 基本的な英語発音のルール学習

単語や文章を音読する際に、基本的な発音指導、発音の基本法則を指導する。特に子音・母音連結法則、子音消失法則などに注目し指導する。

例えば、映画『アナと雪の女王 (Frozen)』の主題歌『Let It Go』は「レット・イット・ゴー」が子音・母音を連結させる法則に従い「レッティゴー」になり、「It」にはアクセントがなく、強く発音しないから「Let」の「t」が「ラ行」になり「レリゴウ」に変わる。

### 4.2.3 リズム、チャンツでの英語学習

チャンツ(chants)とは、元々単調な歌唱とか旋律、歌の意味で、英語を学習する方法の一つである。ラップやジャズなど一定のリズムに乗せて英語単語や英文を歌のようにして読むことをチャンツと言う。英語を英語らしく読むためには、英語の単語や文章の強弱に意識して読むことが必要である。

例えば、弱性の部分は早く短く読み、反対に強勢のある部分は少し長めにゆっくり読むことで、リズムある読み方ができる。学生にはチャンツの作り方を指導し、実際に練習し発表させる。学生は身体でリズムをとりながら、楽しく発表できた。チャンツは英語の発音やイントネーションの練習方法として小学校の英語活動で多用されているので、学生に学んでほしいものの1つである。

#### チャンツの作り方の例

「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?<sup>3)</sup>」を使って、(1-2, 1-2, 1-2-3, 1-2, 1-2, 1-2-3.) のリズムで単語チャンツ(ジャズチャンツ)と文章チャンツを作り、その例を示す。

単語チャンツ (red, brown, purple, white の色を使った単語での練習)

*red-brown, red-brown, red-brown-purple*

*red-brown, red-brown, red-brown-white*

文章チャンツ (Brown Bear, Brown bear, what do you see? I see a red bird looking at me. の練習)

*brown-bear, brown-bear, what-do you-see*

*I-see a, red-bird, lookin-gat-me*

### 4.2.4 視聴覚機器の活用について

授業では、教室が広すぎ、絵本が小さくて見えにくい学生がいるので、プロジェクターを使用する。絵本、歌や手遊びの指導では、CD, DVDなど視聴覚機器は必需品である。視聴覚機器の活用方法を教える機会にもなった。

#### ・プロジェクターの活用

メリット ・絵本の1ページをスクリーンに映し出して授業をする。1冊の本を共有できた。

・ボードブックなどサイズがかなり小さい本も使用できる。

・学生自作の創作絵本の紹介、発表には必須のものである。

・絵本やプリントを音読させる際に、プリントをプロジェクターに大きく映し出し、学生が読んでいるかを確認する。音読する際に、教師が読んでいる文字や文章を指さすので、学生は目と耳も使って音読ができる。

#### ・CD、DVDの活用

メリット ・絵本の読み聞かせをする時、CD付き絵本の場合はCDでの読み聞かせをすることができる。

・自分の発音の練習ができる。

・保育現場では幼児の様子を見ながら、DVD, CDで歌を聞き、手遊びやダンスができる。

#### 4.2.5 ライティングの学習

英語を書くのは苦手な学生が多いため、Bingoゲームや絵本作り等を活用して、楽しく英語を書く、英作をできるように工夫した。

##### ・Bingoゲーム

方法：Bingoの升目（ $5 \times 5 = 25$ ）にその日学んだ単語、熟語を短時間で書く訓練になる。

リスニングの訓練を兼ねて、ゲームを使う。やり方は教師が英語を読みあげ、学生は読まれた単語や熟語をBingoシートでチェックする。英語は1回しか読まないのので、学生には集中して聞く訓練となる。

##### ・絵本作り

方法：絵本作りは専門科目で学習済みなので、絵本の原本を与え宿題にする。

全くの創作絵本を作るのではなく、授業で学習した絵本を基にして、各自が自由に絵本を作る。

作品はみんなの前で発表し、発表の仕方と絵本の絵や内容を相互に評価する。

参考絵本：『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』『Today Is Monday』

『I Like It When…』

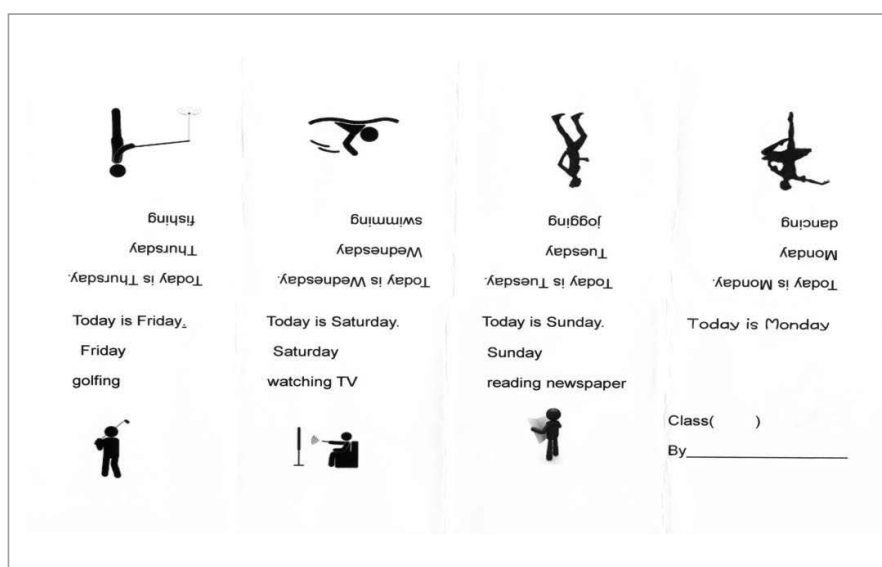


図2 創作絵本（例）『Today is Monday』

##### ・英語絵本の日本語訳

方法：絵本の英語を自分の言葉に換える。各ページの絵にオリジナルの日本語を付ける。

標準語だけが日本語でないのので、学生が自分の出身地で使う言葉で日本語訳にしてみる。

みんなの前で発表し、日本語訳と発表の仕方を相互に評価する。

参考絵本：『No, David』

Put it into Japanese!	No. David!	By David Shannon
David's mom always said... No, David! 壁に落書きしないでー!	NO, DAVID! 危ないから止めてー! 早く降りて!	No, David, no! デビッド、汚いで、その足!
No! No! NO! お風呂はおもちゃでいっぱい。 お湯、もったいない!	Come back here, David! 服着てから遊びに行つてよー!	DAVID! BE QUIET! うるさーい! 大きな音たてないでー!
Don't play with your food! コラ! そんなんで遊ばないの! 好い加減にしないさい	That's enough, David! 口の中いっぱい! あーあー! もーたくさん!	Go to your room! 部屋に戻つてなさい!
SETTLE DOWN! 何してんの! 早くベッドから降りなさい!	Stop that this instant! やめなさい。そんなことしないの!	Put your toys away! 早く片付けて! テレビ近すぎ!
Not in the house, David! 家で野球しやんといて! 外でやつて!	I said no, David! ほら、言うたやろ! 怪我ないか!	Yes, David... I love you! いつもおこるけど、やっぱり、デイビッドが一番やで!
Class ( ) No. ( ) Name( )		

図3 学生の「日本語訳」より『No, David!』

#### 4.2.6 英語絵本を使った授業の組み立て

絵本の学習では、他の教材との関連性を見つけ、絵本の内容や語彙などが学生の負担にならないように努める。絵本と歌や保育英語プリントのすべてに出来るだけ関係ある語彙、文章を選択し、語彙、文章の定着に配慮し、授業を進める。

##### 授業例 1

- ① 学習目標 食べ物や動物の名称 曜日
- ② プリントで、先に曜日、食べ物、動物の名前を学習し、歌や絵本に移る。絵本は、語彙数、文章数が少なく、繰り返し多い絵本から、より複雑な内容の絵本へと進めてゆく。

絵本：『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』『Today Is Monday』

『The Very Hungry Caterpillar』 by Eric Carle

歌・手遊び：『Sunday, Monday, Tuesday』『Today Is Monday』『The Very Hungry Caterpillar』

##### 授業例 2

- ① 学習目標 動物や体の名称、体の動き
- ② 身体の絵図で名称を学習し、身体を含んだ歌を学習する。身体の動きの学習では、動きを説明するプリント①で、実際に英語を言いながら身体を動かし学習する。

インターナショナルスクールや奈良学園幼稚園登美が丘幼稚園で使用している英語版のラジオ体操を聞きラジオ体操をしてみる。ラジオ体操の基本項目のプリント②を渡し、実際に身体を動かしてみる。

ラジオ体操基本項目プリント内容

- |                             |                                      |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. Stretch your whole body  | 2. Arms to the side and stretch legs |
| 3. Swing arms in the circle | 4. Chest open-up wide                |
| 5. Bend arms to the side    | 6. Bend forward and backward         |

7. Twist your body
8. Raise your arms up and down
9. Put your feet wide apart and bend your body to the side
10. Rotate your whole body
11. Put your feet together and jump
12. Move your arms, legs and knees together

絵本：『From Head to Toe』 by Eric Carle

歌・手遊び：『Head, Shoulder, Knees and Toes』『Open Shut Them』『From Head to Toes』

CD：ラジオ体操（英語版）

### 授業例 3

- ① 学習目標 数字 起床、就寝前の動作
- ② 数字と日常の活動で使用する語句を学習する。  
プリント：昼食や昼寝の場面を設定し、そこでの会話文をプリントにする。  
絵本：『Five Little Monkeys Jumping on the Bed』 by Eileen Christelow  
歌・手遊び：数『Seven Steps』『Ten Little Indian Boys』  
日常動作『Five Little Monkeys Jumping on the Bed』  
『Here We Go Round the Mulberry Bush』

### 授業例 4

- ① 学習目標 顔の名称 色
- ② 身体の部位、特に顔の名称や複雑な色を学習する。  
絵本：『Go Away Big Green Monster』 by Ed Emberley  
歌・手遊び：『Hands on』（とんとんとんとんひげじいさん）  
ゲーム：「Let's make a funny face!」「Let's draw a monster's face!」。配付されたプリントに自分のモンスターを作り、展示し相互評価をする。

### 授業例 5

- ① 学習目標 トイレのトレーニングの会話
- ② トイレの前後で使う語彙や会話をプリントして練習する。  
プリント：Let's take a potty break. I want to go pee-pee / poo-poo. I wet my pants. 他  
絵本：『Chomp, Chomp, Chomp』 by Yun ah Hae 『Everyone's Poops』 by Taro Gomi  
歌・手遊び：『Chomp, Chomp, Chomp』

## 5. 授業の検証

2014度1回生の学生が英語の授業を通じて「獲得すべきと考えた能力」について自己採点したものの1部を記載し、授業を検証する。数字はパーセンテージで、各クラス人数はA22人 B20人 C30人 D29人。



## 5.1 この科目（英語）で獲得を目指す力

### 1. 保育現場で使える英語力を身につける

- 1) 保育現場で使える英語単語・文が分かる
- 2) 実習現場で使っている英語が聞き取れる
- 3) 実習現場で使っている英語を聞き取り、発信できる

A	B	C	D	合計
96	45	77	69	71%
82	55	37	17	45%
18	5	0	0	5%

### 2. 保育英語検定に挑戦する

- 1) 保育現場で使える単語や簡単な文章が分かる
- 2) 保育英語検定4級程度の語彙、文章が分かる
- 3) 保育英語検定3級程度の語彙、文章が分かる

91	70	83	86	83%
59	35	27	10	31%
32	35	7	7	18%

### 3. 英語絵本を正確に読める力を身につける

- 1) 英語絵本の語彙単語を読める
- 2) 英語絵本の日常的な単語、文を読める
- 3) 英語絵本の単語や短文の内容を理解し音読できる

36	45	43	45	43%
91	45	50	52	58%
68	10	13	3	22%

### 4. CD, TVでの歌や簡単な話を聞きとる力を身につける

- 1) CD, TVの使用した単語、語彙を音読できる
- 2) CD, TVを聞き、それに合わせて文章を目で追える
- 3) CD, TVを聞き、それに合わせて文章を読める

36	40	33	34	36%
95	50	43	45	57%
59	5	13	17	23%

### 5. 基本的な書く力を身につける

- 1) 短時間にビンゴに正確に単語、語彙を書き込める
- 2) 英語絵本の一部を書き換えて、自由な絵本が作れる
- 3) 短い英文で自作の絵本が作れる

55	75	77	55	65%
82	35	37	41	48%
82	0	43	3	32%

## 5.2 学生の英語の授業に関するコメント

- ・英語が苦手だったが、絵本や歌なので十分に英語でも理解できる。
- ・高校時代と違った単語も出てきたが、意味が分かりやすく勉強になった。
- ・英語絵本を読む機会がなかったが、絵本を読めて楽しく学習ができて良かった。
- ・内容が面白い絵本もあり、読み方で十分英語でも理解でき、授業が楽しい。
- ・絵本は絵があり、単語も文章を簡単に読みやすく、覚え易かった。
- ・難しい単語もあるが、絵が助けとなって分かり易くなり、絵本を楽しめた。
- ・日本語訳になっている絵本は簡単に内容が理解できたが、初めての絵本は少し苦労した。
- ・絵本は繰り返しが多く何度も同じ、または似た表現出るので面白く学習出来た。
- ・絵本に出ている英語は良く知っているので、英文を読めた。他の絵本を自分で読んでみたい。
- ・絵本はリズムを付けて読むので読み易かった。

### 5.3 まとめ

英語絵本や英語の歌を学習教材として使用した意図が活かされ、効果が生まれていたことが学生のコメントでわかる。「難しい単語も、絵が助けになって分かり易い」「絵本は繰り返しが多く、似た表現が出るので面白い」「絵本はリズムをつけて読むので読みやすい」と絵本での認知的理解ができていると考えられる。

5.1での「英語絵本を正確に読める力を身につける」の項目に対して「英語絵本の日常的な単語、文を読める」の項目に、A組では91%、全体では58%の学生ができると自信をつけている。

保育英語に関して、「保育現場で使える英語力を身につける」「保育英語検定に挑戦する」での第1項目について、多くの学生の自己評価が高く、自信をつけたと思われる。

## 6. おわりに

授業を考える際には、教える側の意図と学ぶ側の目的とのマッチングができているかを検証し、学生の要求と指導する側の高い目標をマッチングさせることに意識を持ちつつ最善を払うべきである。

保育士、幼稚園教諭を目指している学生が、自分の将来を見据えて、学習意欲を持ち続けながら専門科目を学習しながらも、英語に対しても興味関心を持ち、英語力を高めて、「英語が話せる保育士」「英語が使える保育士」になることを目指してくれることを切望する。そしてこれまでの英語の授業が学生のニーズに合っていたものと信じたい。

### 引用文献

- 1) 第1回中学校英語に関する基本調査報告書(2009)ベネッセ教育研究所 <http://bred.benesse.jp/>
- 2) ならリビング(2015.7.3)私立・国立幼稚園ガイド <http://www.naraliving.com>
- 3) Bill Martin Jr/Eric Carle (2010) Brown Bear, Brown Bear, What Do You See? Henry Holt and Company.

### 参考文献

- ・赤松直子・久富陽子(2007)保育の英会話. 萌文書林.
- ・赤松直子(2013)保育英語(Children's Garden). 成美社.
- ・保育英語検定協会(2011)保育英語検定1級~5級テキスト. 本の泉社.
- ・東大志成会 出版部(2012)保育英語検定2~4級対策問題集.
- ・濱本秀樹(2008)早期英語教育における文法発見のプロセスについて」関西英語教育学会紀要『英語教育研究』31号.
- ・文部科学省(2009)英語ノート1, 英語ノート2. 教育出版.
- ・文部科学省(2012)Hi, friend! 1, Hi, friend 2. 東京書籍.
- ・文部科学省(2001)小学校学習指導要録.
- ・文部科学省(2001)小学校英語活動実践の手引き.
- ・中本幹子(2010)実践家からの児童英語教育法. アプリコット出版.
- ・永岡修一(2012)はじめてのえいご手あびうた. 永岡書店.

- 京都教育大学附属京都小・中学校英語科（2009）英語教育改善のための調査研究事業.
- 京都教育大学附属京都小・中学校英語科（2011）英語教育改善のための調査研究事業.